

# 斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2024 年報告書

学校名・施設名等 NPO 法人しまね体験活動支援センター

担当者名 事務局長 岩崎 知久

対象河川名 宍道湖（嫁が島付近） 実施時期 夏

## 取り組み状況（湖沼環境の状況、調査での取り組み、指導者等について）

〔参加学年等〕 4～6 年生と保護者 〔参加者数〕 夏調査 子ども 9 人

【夏の宍道湖（嫁ヶ島付近）調査】8月4日〈天気〉晴れ〈気温〉35℃〈水温〉31.7℃  
水質判定等の調査は公益財団法人島根県環境保健公社のスタッフ等が指導

〈1 番多かった指標生物〉ヤマトシジミ 92 個体、ニッポンドロソコエビ 1 個体

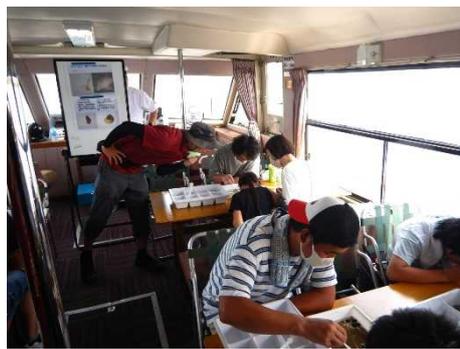
〈水のきれい度〉ややきれい

透視度 90 cm COD 5 mg/L

〈その他の生物〉ユスリカ類

貝類 カワグチツボ

甲殻類 ムロミスナウミナナフシ、ヤマトスピオ



## 子ども達の感想

(参加した子ども達の感想)

- ・しじみが、宍道湖の水をきれいにくれていること、シジミの赤ちゃんがとても小さくてびっくりした。
- ・湖でも塩は入っているんだなと思ったし、しじみが水をきれいにしてすごかったです。
- ・ちょっとのみ物をすてたらすぐによごれたので、すてないように心がけたいです。・調査に参加してみ、水質汚染の原因の 7 割が生活排水と教えてもらったので、僕たちは源流域に住んでいるので、水に悪いものを流さないようにしたいと思います。
- ・私が大きくなってもしじみがたくさんとれる宍道湖を守りながら、もっときれいにして環境基準に入れるように日々の行いを正していきます。しょう来は自然や生き物にかかわるお仕事がしたいです。